

社会科学習指導案

湯来町立湯来南小学校 三宅 裕之

1 対象学年 第5学年

2 単元名 わたしたちの生活と食料生産 - みかんづくりの町・豊町 -

3 単元設定の理由

北部の積雪寒冷地域から瀬戸内の島しょ地域にまたがる広島県は日本の縮図と言われ、地形・気候条件も変化に富み、多くの農作物が生産されている。その中でも、みかんは本県の代表的な農作物であり、生産量・品質ともに全国で有数の地位を占めている。

また、日本の食生活においても、みかんは最も多く食べられている果物であり、それだけ身近で親しみのある果物でもある。

本県の場合、みかんは県南島しょ部の温暖な気候条件の中で、きわめて適性をもつ果樹として、需要の拡大とともに飛躍的に生産を伸ばしてきた。しかし、昭和50年代に入ると、生産過剰による収益性の低下などのためにみかんづくりは再編整理が求められるようになり、現在、みかん産地では、生き残りのための努力を懸命に行っている。

このようなみかんづくりを日本の農業における一つの姿として教材化することは、日本の農業の特色や概要を理解する上で適当であると考えられる。

具体的事例としては、全国的にも有名な「大長みかん」の産地である広島県豊田郡豊町を取り上げる。豊町では、全戸数の大半がみかん農家であり、みかんづくりが町の主産業となっている。豊町でみかんづくりに従事する人々が、どのような自然条件のもとで、どのような生産活動を行っているのか、現状・課題・将来展望をつかませるとともに、人々の願いや喜び、悩みについても共感的にとらえさせたい。

4 単元の目標

【社会的事象への関心・意欲・態度】

豊町のみかんづくりの様子や農家の人々の工夫や努力に関心をもち、意欲的に調べようとする。

【社会的な思考・判断】

豊町ではなぜみかんづくりがさかんになったのか、そして生産量がどのように変化したのかを考えることができる。

【観察・資料活用の技能・表現】

豊町のみかんづくりについて、資料から問題をつかみ、調べ方を具体的に考えることができる。

【社会的事象についての知識・理解】

豊町では、よりよいみかんづくりのために、地域ぐるみで様々な工夫や努力をしていることがわかる。

5 指導と評価の計画（全8時間）

過 程	時	主 な 学 習 活 動	指 導 の 手 だ て	評 価
つ か む	1	○ 豊町はどんな町かをつかむ。 ○ 問題をつかむ。	・ 町の様子を具体的につかむために、航空写真を用意する。	・ 豊町の特徴をつかんでいるか。《知・理》 (発言・ノート)
		なぜ豊町ではみかんづくりがさかんなのだろうか。		
調 べ る	2	○ みかんはどんな所でつくられているかを確認する。 ○ なぜ豊町ではみかんづくりがさかんなのかを予想する。 ○ 調べ方を考える。 ○ 資料で確かめる。	・ 地図帳で、みかんの産地が県南島しょ部に集中していることに気付くようにする。	・ 地図帳からみかんの産地の特徴をつかんでいるか。《技・表》 (発言・ノート)
つ か む	3	○ 豊町の人たちのみかんに対する思いを考える。 ○ みかんが捨てられている写真を見て不思議だと思うことを挙げる。	・ 豊町ではみかんづくりが町の主産業であることから考えるようにする。	・ みかんが島の暮らしを支えるとても大切なものであると考えているか。《思・判》 (発言・ノート)
		せっかく育てたみかんをなぜ捨てているのだろうか。		
		○ 豊町のみかんの生産量の移り変わりのグラフを読み取り、不思議だと思うことを挙げる。 ○ 問題をつかむ。	・ みかんの生産量の増減に気付くようにする。	・ みかんを捨てていることに対して疑問をもっているか。《思・判》 (発言・ノート) ・ 資料を丹念に読み取っているか。《技・表》 (発言・観察)
		なぜ豊町のみかんの取れ高は1972年まで増え、それから減り続けているのだろうか。		
調 べ る	4	○ 予想する。 ○ 調べ方を考える。 ○ 資料で確かめる。	・ 何をどうやって調べるのかを具体的に考えるようにする。	・ 調べる内容と方法を考えているか。《思・判》 (発言・ノート)
つ か む		○ 問題をつかむ。		
		豊町のみかんづくりは、これからどうなっていくのだろうか。		
調 べ る	5 6	○ 予想する。 ○ 調べ方を考える。 ○ 資料で確かめる。	・ これまでの学年で、現地に手紙で質問したことを思い出すようにする。	・ 意欲的に調べようとしているか。《関・意・態》 (発言・ノート)
ま と め る	7 8	○ これまで調べたことや分かったことをまとめる。	・ これまでどんな学習問題をどのような方法で調べてきたか、またどのようなことが分かったかを振り返る。	・ 調べたことを分かりやすく表現しているか。《技・表》 (作品)

6 学習指導の展開（第1時）

学 習 活 動 ・ 内 容	指 導 の 手 だ て	資 料
○ 豊町はどんな町かをつかむ。 ・ たくさんの船がある。 → 漁業がさかんなのではないか。 ・ 船は漁船ではなく、農船である。 ・ 豊町ではみかんがつくられている。 ・ 一番さかんな仕事はみかんづくりである。 ○ 問題をつかむ。 ・ 「なぜだろう」「不思議だなあ」ということを考える。	・ 町の様子を具体的につかむために航空写真を提示する。 ・ 豊町の産業別就業人口のグラフを提示し、一番さかんな仕事は何かを考えるようにする。 ・ ビデオを視聴し、船は農船(みかん船)であることを確認する。 ・ 地図帳で、豊町ではみかんがつけられていることを確認する。	〔写真〕 ・ 大崎下島の全景 ・ 農船 〔グラフ〕 ・ 豊町の産業別就業人口 〔ビデオ〕 ・ 豊町のみかんづくりの様子 〔地図〕 ・ 豊町の土地利用図
なぜ豊町ではみかんづくりがさかんなのだろうか。		

7 評価

【社会的事象への関心・意欲・態度】

豊町でみかんづくりに取り組む人々の働きに関心を持ち、その人々の工夫や努力を進んで調べようとする。

【社会的な思考・判断】

豊町では、みかんづくりに地形や気候などの自然条件を生かしたり、問題点を解決しようとしていたりしていることについて考えることができる。

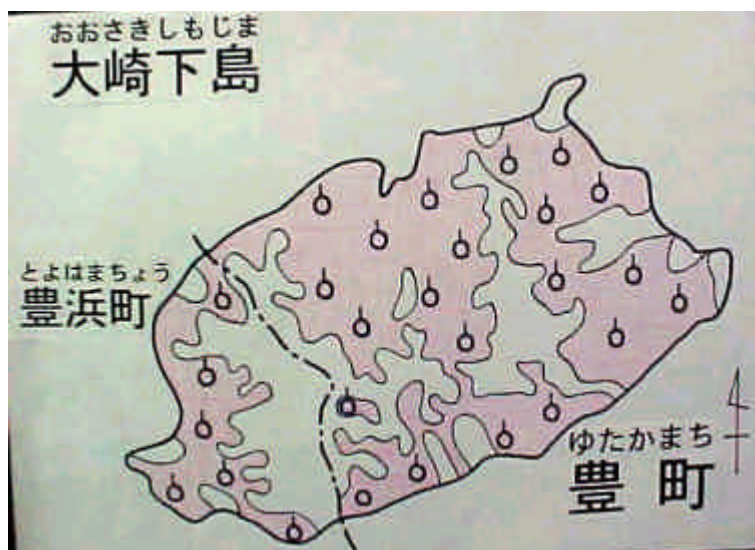
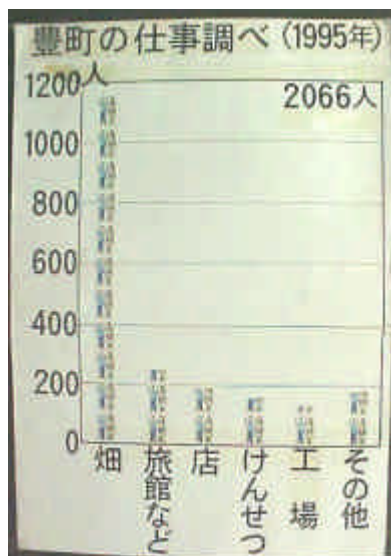
【観察・資料活用の技能・表現】

資料や地図などを活用して、豊町のみかんづくりの特徴や問題点を読み取り、自分なりの言葉で表現する。

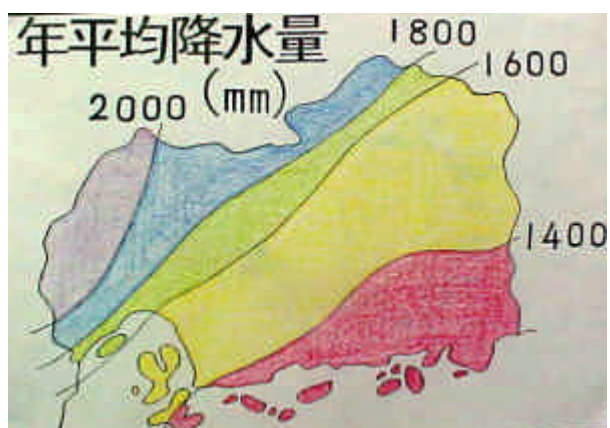
【社会的事象についての知識・理解】

豊町では、様々な人々が自然環境を生かしながら、みかんを生産しようとしていることがわかる。

8 授業で使った提示資料の一部



大崎下島の土地利用図



広島県の年平均降水量



広島県の年平均気温

